

検討事項の協議結果について(平成29年度～令和2年度)

1 開催回数

	H29年度	H30年度	H31年度 R01年度	R02年度	合計
開催回数 (正副の互選除く)	8	5	4	2	19

2 検討項目数

○前任期から引き継いだもの	3
○平成29年度に各会派から新たに提案があったもの	43
○平成30年度に各会派から新たに提案があったもの	3
○令和元年度に再度協議することになったもの	1
合計	50

3 協議状況

	H29年度	H30年度	H31年度 R01年度	R02年度	合計
取下げ	1	-	-	-	1
協議済み ※各派や議運で 決定されたもの	27	8	11	1	47
継続協議	1	1	-	-	2

(1) 取下げ(1項目)

- ・予算特別委員会の設置について

(2) 協議済み(47項目)

- ・実施したもの…………… 12項目
- ・実施に向けて協議を進めたもの…1項目
- ・現状どおりとしたもの…………… 34項目

(3) 継続協議(2項目)

- ・議会主催の議会報告会・意見交換会の開催について
- ・大学とのパートナーシップ協定について

検討項目一覧表

No	項目名	提案年度	協議日	協議結果	最終決定
継続	ケーブルテレビ放映について	H28	H29.5.17 H29.7.19	ケーブルテレビ富山については生放送とし、上婦負ケーブルテレビについては生放送を基本に、富山県議会と重複する日は、録画放送とする。	各派
継続 1	一般質問における年間の持ち時間について	H28 (H29) (H30)	H29.5.17	質問時間を90分から120分に拡充	議運
			H30.2.20	現状どおりとする。 (意見の一致が見られなかったため)	議運
			H31.1.17	現状どおりとする。 (意見の一致が見られなかったため)	議運
継続 2	本会議におけるパネル等の使用について	H28 (H29)	R1.5.30	まずは言葉で意見を伝えることが必要であり、その上で、会議規則では議長の許可を得れば議場で資料等を配布することを認めているため、その手法を活用して資料等の効果や有効性を判断することとし、パネルの使用については今後の状況を見守ることで一致した。	議運
1	議員個々の議案に対する賛否状況をHP上で公開することについて	H29	H29.7.19	提案のとおり、議案、議員提出議案、請願等に対する議員個々の賛否状況について、直近の6月定例会分からHP上での公開を実施する。	各派
2	常任委員会等の議事録をHPに掲載・公開することについて	H29	H29.7.19	提案のとおり、常任委員会、特別委員会、議会運営委員会、議会報編集委員会の会議録をHPに掲載・公開する。 (窓口閲覧もあわせて行う) なお、平成29年6月定例会の会議録から実施する。	各派
3	香典、祝儀の原則禁止について	H29	H29.8.29	現状どおりとする。(公職選挙法のルールに従って取り扱う)	各派
4	予算案などの議案に対して、各会派が原則、討論を行うことについて	H29	H29.10.24	議員としての発言の自由が保障されていることは当然であるが、一方で、効率的で市民にもわかりやすい議会運営となるよう、議員個々が、それぞれの良識の中で判断することとする。	議運
5	事務局から議員への通知方法の見直しについて	H29	H29.8.29	速報性向上の観点から、諸会議の開催内定の事前連絡について、メールでの案内に見直すこととする。実施に当たっては、平成29年9月中に全議員のメールアドレス登録等の準備を整え、10月からの運用開始とする。	各派
6	反問権(逆質問・反論)の付与について	H29	H30.1.23	現状どおりとする。 (質問の趣旨の確認のみ認めることとする)	議運
7	委員会資料、議会資料のインターネット公開について	H29	H29.10.24 H30.2.20	実施する。 (議案説明資料及び委員会資料については、当該委員会の議事録の参考資料として、議事録の公開にあわせてホームページへ掲載する)	各派

No	項目名	提案年度	協議日	協議結果	最終決定
8	委員会資料(報告事項に係るもの)の早期配付について	H29	H29.10.24	委員会資料の早期配付について、何日前からの配付が可能かも含めて、当局と調整し、実施していくこととする。(その後の各派代表者会議にて、「開催日の3日前」に前倒して配付することと決定された)	議運
9	分割質問の導入について	H29	H30.1.23 H30.2.20	一般質問の方式については、現状どおりとする。 (分割質問については導入しない。ただし、質問と答弁のやり取りが、誰にとってもわかりやすくなるように、質問の内容や構成などについて、議員みずからがしっかりと精査し、質問力を高めるよう自己研鑽に努めることとする)	議運
10	議会事務局の機能強化について	H29	R1.11.22	法務の専門家や政策立案について助言を行うことができる人材を配置してほしいという意見や、経験を積んだ職員を議会事務局に配置してほしいという意見があった。 なお、他市議会の事務局の機能強化の取組について調査を行ってほしいという要望があった。	各派
11	夜間・土日議会の開催について	H29	R1.5.30	現状どおりとする。	議運
12	委員会のインターネット中継について	H29 (H30)	H30.7.18	現状どおりとする。 (本会議のインターネット中継の閲覧数の推移を見る限り、議会としての質の向上を図ることが優先と考えられ、その上で、本件に対する市民のニーズを見極めながら、実施に要する経費面や、映像・音声のクオリティーをどの程度求めるのかといった課題について、各党派、事務局において調査・研究を深めることが必要であり、早急な導入については時期尚早である)	各派
13	電子表決システムの導入について	H29	R1.5.30	議会のICT化は将来的には必要であるが、予算との兼ね合いもあることから、議場の改修のタイミングやタブレット等、他のシステムの導入検討の際に改めて議論するものとし、電子表決システム単独での導入についてはこれ以上協議を進めない。	議運
14	予算特別委員会の設置について	H29	H29.8.29	提案党派である自由民主党から、提案取り下げの申し出があり、これを了承した。	
15	議員親睦会の開催について	H29	H29.8.29	現状どおりとする。 (議会改革検討調査会では取り扱わないこととする)	各派
16	議長・副議長の選挙、立候補者の所信表明演説の実施について	H29	R1.5.30	意見の一致は見られなかった。	議運
17	全ての会議を公開することについて	H29	H30.2.20	現状どおりとする。 (各派代表者会議を出席者以外の議員が傍聴することの可否については、別途、各派代表者会議で協議を行う)	各派

No	項目名	提案年度	協議日	協議結果	最終決定
18	改革実施項目の事後検証(PDCAサイクル)について	H29	H29.11.29	実施する。 (提案どおり、これまでに決定してきた項目や、今後、取り組んでいく項目について、継続して、主体的・客観的な検証を行い、改革の歩みを進めていく。)	各派
19	議会改革の客観的な立ち位置の研究について	H29	H29.11.29		各派
20	効率的な議会運営について	H29	H29.10.24	議員としての発言の自由が保障されていることは当然であるが、一方で、効率的で市民にもわかりやすい議会運営となるよう、議員個々が、それぞれの良識の中で判断することとする。	議運
21	議会改革検討調査会等における議論の尊重について	H29	H30.1.23	従来から、富山市議会においては、請願の審査に限らず、個別の案件に対し、議員個々がこれまでの議論のプロセスも十分に尊重した上で、それぞれの立場と良識に基づいた判断をしてきており、今後も、果たすべき議会の役割を認識して丁寧に取り組んでいくこととする。	議運
22	「議会モニター」の公募について	H29	R1.11.22	モニター制度は、市民の意見を聞くための手法の1つではあるが、市民からの意見は、モニター制度よりも議員が積極的に聞くべきであるという意見や、一部の偏った意見ばかりが集まることで閉鎖的になるという意見、全国的にも導入している自治体が少ないことなどから時期尚早であるという意見が主流を占めた。	各派
23	富山市議会としての記者会見の実施について	H29	H29.10.24	現状どおりとする。 (現状においても、取材には随時対応しているが、議会として、市民に広く伝えるべき相当な事柄等があれば、議長の判断により、積極的に記者会見を実施することは望ましいことと考える)	各派
24	政策検討会議の設置について	H29 (H30)	H29.11.29 H31.1.17	現状どおりとする。 (意見の一致が見られなかったため)	各派
25	議会主催の議会報告会・意見交換会の開催について	H29	H29.11.29	継続協議 (実際に運営する上での課題(議員の構成、内容等)を各会派で検討することとし、継続協議となる)	各派
26	政務活動費のあり方の見直しの到達点(市民への説明、意見交換)について	H29	H29.8.29	現状どおりとする。 (政務活動費のあり方検討会での議論に委ねる)	各派
27	大学とのパートナーシップ協定について	H29 (H30)	H30.7.18	継続協議 (知的資源を集積する大学との間で、どのような連携の仕方があるのか、引き続き、当調査会で協議する)	各派
28	一般質問と議案の質疑を分けることについて	H29 (H30)	H29.8.29	現状どおりとする。	議運
			H31.1.17	現状どおりとする。 (意見の一致が見られなかったため)	議運

No	項目名	提案年度	協議日	協議結果	最終決定
29	模擬議会の実施について	H29	H29.10.24	現状どおりとする。 (主権者教育の重要性に鑑み、議会としてどのようなことができるのか、それぞれが調査・研究をしていくこととする)	各派
30	本会議でのプロジェクターの導入について	H29	R1.5.30	意見の一致は見られなかった。	議運
31	議場への大型モニターの設置について	H29	R1.5.30	提案者が「本会議でのプロジェクターの導入について」と合わせて協議することを希望されたもの。	
32	親子傍聴室の設置について	H29	R1.5.30	意見の一致は見られなかった。	各派
33	議員間討議の制度化について	H29	R2.3.2	意見の一致は見られなかった。	各派
34	請願・陳情者の意見陳述の制度化について	H29	H29.11.29	現状どおりとする。	議運
35	議会のBCP(業務継続計画)の策定	H29 (H30)	H30.11.16	大規模災害時における議会としての対応・活動について必要な項目を定める市議会としてのBCPの策定が必要であるという点について、方向性の一致をみた。 (各派代表者会議において、今後議会運営委員会で協議していくこととなった)	各派 ↓ 議運
36	議会基本条例の検討について	H29 (H30)	H29.8.29 H31.1.17	制定について、賛否双方の意見に加えて、議会として一致団結しようという機運のない本市議会の現状においては、制定の可否を決定する段階にはないと の意見もあり、意見の一致は見られず、結論を見送った。	各派
37	議員政治倫理条例の検討について	H29 (R1)	R1.8.19	条例についての協議を行う前段階として、委員間で倫理に対する認識を共有するため、現在、倫理的に問題があると思われる具体の事例を取り上げて、意見交換を行った。 委員からは、問題となっている事柄を議論した上で倫理について共通認識がなければ話を前に進めることはできないという意見がある一方で、まずは条例についての議論を行い、策定の過程で個別の問題を取り上げるべきだという意見もあった。 さまざまな意見が出されたが、意見の一致を見ることはなく、問題意識や倫理観に大きな差異があった。	各派
			R2.7.9 R2.10.7	議員の政治倫理の規定の必要性について、現時点での考えを確認したところ、規定は不要であるとした委員が7名、憲章のようなものを制定すべきとした委員が2名、政治倫理審査会を含む政治倫理条例を制定すべきとした委員が4名であった。	各派

No	項目名	提案年度	協議日	協議結果	最終決定
38	各会派の質問に対する残り時間を議会だよりやHPに表示することについて	H29	H30.2.20	現状どおりとする。 (質問の残り時間の表示は行わない)	議運
39 40 41 42	・正式会派の人数要件について ・まちづくりと公共交通対策特別委員会への全会派参加と委員数の増員について ・政務活動費のあり方検討会への全会派参加と委員数の増員について ・議会報編集委員会への全会派参加と委員数の増員について	H29	H29.7.19	現状どおりとする。 (平成29年4月の改選後の世話人会及び各派代表者会議において既に決定されているものであり、今後、議会改革検討調査会の中では、検討項目として取り扱わない)	各派
43	タブレット端末の導入	H29 (H30)	H30.11.16	議会活動の利便性向上、災害時の情報伝達の迅速化等の観点から将来的に導入していくべきであるという方向性の一致をみた。	各派
新1	妊娠、出産、育児等と議会活動について	H30	H30.11.16	現状どおりとする。 (早急に条文の改正が迫られているわけではなく、現行の規則の中で運用していく。それでも対応できない場合には、議会運営委員会等で協議する)	各派

- 取り下げられたもの・・・1項目
- 協議済み(各派・議運決定済み)・・・47項目
- 継続協議・・・2項目



- 47項目のうち、
- 実施したもの・・・12項目
 - 実施に向けて協議を進めたもの・・・1項目
 - 現状どおりとしたもの・・・34項目